

3 盆栽を育てるうえで大事なこと

盆栽は植物です。多くの植物はよく陽の当たるところ、風通しのよい場所を好みます。このことは病害虫の防除面でも大切なことです。したがって置場所は地表より50~60cmぐらいの棚上が理想です。これはふだんの水やりや芽摘み、除草などの手入れをするときにいちばん作業のしやすい高さなのです。ではマンションのベランダではいけないか？ということになりますが、少し工夫をこらして、例えばブロックなどを2~3段積み重ねて、その上に棚板を並べれば、日光の放射熱はそれほど気にする必要はありません。ただ、そうした場所がら盆栽はよく乾きますから、水かけが若干多くなるくらいでしょう。

盆栽はいうまでもなく植物ですから適度な水を必要とします。まして鉢という限られたスペースの器に入っているのですから、水やりを忘れない、これが盆栽を枯らさないコツなのです。次いで栄養（肥料）と病害虫の防除の3点が大切な作業となります。樹木の成長にしたがって徒長枝の剪定、整姿がこれに次ぐ大切な作業です。



水やりはたっぷりと